

# 今後も、できることから取り組んでいきます

## もみじ台中学校の1年生が、まちづくりの提案をしてくれました

もみじ台中学校の1年生10名が、社会科の選択授業で、もみじ台地域のまちづくりの提案をしてくれました。その一部をご紹介します。

- ・もみじ台は副都心新札幌の側にあるのに、あまり発展しないのはなぜか。副都心計画について調べました。
- ・もみじ台を、「明るい町、元気な町」、「誰でも住みやすい町」とするため、もみじ台の「お店」や「公園」を「CHANGE（チェンジ）」することが必要と思いました。
- ・「昭和通り」や「平成通り」といったストリートの愛称付けなどで、子どもからお年寄りが利用したいと思う場所にしていけば、人口も増え高齢化もなくなると思いました。
- ・町内会を活性化させ「お年寄りの家の除雪支援」や「お年寄りや若い人が交流できるイベント」などを行っていき、古き良きもみじ台をいかして、より良い町にしていければいいと思いました。

## もみじ台まちづくりサポーターに16名の応募がありました


もみじ台まちづくり会議「地域まちづくり部会」で「まちづくりサポーター」を募集したところ、16名の応募がありました。まちづくりの取組に対し、様々なアイデアを提案していただいたり、実際に一緒に実践していただく予定です。

## 今後の取組アイデアを検討しました

- ・お年寄りの見守り活動をモデル的に立ち上げて、取り組めないか。
- ・世代を越えた交流が重要なので、子どもからお年寄りまで参加できるような取組が必要ではないか。
- ・中学生の提案にもあったが、もみじ台の魅力などを紹介する文化展ができないか。
- ・今後の地域の取組に対し、大学など地域の外の力をかりられないか。

## 「地域の茶の間」を継続します

「地域の茶の間」とは、昨年度から本格的に始めた取組で、誰でも気軽に立ち寄れる場所を作って、地域での「ふれあい」や「ささえあい」のきっかけづくりを目指すものです。どなたでもお気軽にお越しください！

- ところ** もみじ台管理センター  
1階「娯楽室」  
(厚別区もみじ台北7丁目1-1)
- 時間** 午前10時～午後3時  
いつでもご自由にお立ち寄り下さい。
- 参加費** 200円   
お茶とお菓子を用意しています。



**開催日** 毎月第1土曜日  
5月、1月は第2土曜日

平成21年	4月 4日(土)
	5月 9日(土)
	6月 6日(土)
	7月 4日(土)
	8月 1日(土)
平成22年	9月 5日(土)
	10月 3日(土)
	11月 7日(土)
	12月 5日(土)
	1月 9日(土)
	2月 6日(土)
	3月 6日(土)

主催：もみじ台まちづくり会議

具体的な取組状況について、今後も適宜「もみじ台まちづくり通信」でお知らせしていきます。取組へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先：厚別区もみじ台まちづくりセンター 電話：011-897-6121

# もみじ台まちづくり通信

このまちづくり通信は、もみじ台のまちの将来を考える話し合いの経過を、地域の皆様にお知らせするものです。

第4号

## 「住み良い『もみじ台』であり続けるために ～課題と方向性のまとめ～」を作成しました

この「課題と方向性のまとめ」は、地域の51団体が参加している「もみじ台まちづくり会議」と札幌市が、平成18年度から検討してきた内容をまとめたもので、今後の「まちづくりの方針」となるものです。検討にあたっては、北海道大学大学院工学研究科 瀬戸口准教授にアドバイザーとして参加いただきました。

この内容は通信の2～3ページでご紹介します。

## 平成20年度の検討の内容をご紹介します

### もみじ台まちづくり会議

- ・「地域まちづくり部会」を設立しました
- ・暮らしに関するアンケート調査を行いました
- ・課題と方向性の素案を構成団体へ配布しました

### もみじ台まちづくり会議 「地域まちづくり部会」

- ・まちづくりの課題を整理して、今後の方向性や取組について意見交換をしました

これまで配布した、話し合いの経過をお知らせする「もみじ台まちづくり通信」の第1号～第3号もご参照ください。

### もみじ台のまちの将来を考える集い

- ・もみじ台地域でこれからどのようなまちづくりを進めたらよいか「まちづくりの方向性」を考えました
- ・昨年話し合いで重要度第1位であった、地域密着の福祉施設ができるように「地区計画」の見直しについて考えました

## 地域密着の福祉施設ができるように 地区計画の見直しについて検討を重ねてきました



地域密着の福祉施設ができるように地区計画の見直しについて、昨年度は「もみじ台のまちの将来を考える集い」などをはじめ、様々な機会でも話し合いを重ねてきました。詳しい内容は、この通信に挟み込んでいる「札幌市からのお知らせ」をご覧ください。

# 住み良い「もみじ台」であり続けるために～課題と方向性のまとめ～（概要版）

## 地域特性と課題

<p><b>高齢化が進んでいる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域にお年寄りが増え、戸建住宅では65才以上が4割を超える自治会が2つある</li> <li>お年寄りの単身世帯が増え続けており、平成17年には地域全体で13.3%となった</li> </ul>	<p><b>人口の減少と少子化が進んでいる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世帯数は大きく変化していないが、人口は減り続けている</li> <li>子どもが少なくなり、戸建住宅では7.6%となった</li> <li>幼稚園が閉園したり、昔あった店舗などが半分くらいなくなるなど、まちに活気がなくなってきた</li> </ul>	<p><b>お年寄りが安心して暮らせるように地域での支え合いが必要になる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お年寄りだけの世帯では、家の管理や買物などの日常生活が難しくなる可能性がある</li> <li>お年寄りの単身世帯が増えているので安否確認など見守り活動の維持・充実が求められる</li> <li>自治会役員の高齢化など地域活動に支障が出る可能性がある</li> </ul>	<p><b>地域内の様々な人が交流する機会が少ない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域内のふれあいや、交流が少ないので増やしていくことが求められている</li> <li>交流活動の担い手や、交流の場の確保が必要となっている</li> </ul>	<p><b>計画的な施設配置が行われてきたが、時代の変化に応じた活用が必要になる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画的な土地利用と施設配置により、公共施設等が整い、閑静で緑豊かな居住環境が形成されている</li> <li>少子高齢化や地域ニーズの多様化などに伴い、時代の変化に応じた公共施設等の活用について検討が必要となっている</li> </ul>	<p><b>時代の変化に応じた土地利用規制の検討が必要になる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>良好な居住環境を担保する手法の一つとして地区計画が定められている</li> <li>良好な居住環境の維持を確保しながら少子高齢化に対応した地区計画の見直しが求められている</li> <li>空地・空家が増加傾向にあり、このままでは、まちなみの悪化や防犯上の問題が生じる可能性がある</li> </ul>	<p><b>戸建住宅の建替えが進むとともに、住替えが進む可能性がある</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>築30年以上を経過した戸建住宅が多くあり、建物の改修や更新、それに併せたバリアフリー化などを相談する場が必要になりつつある</li> <li>少しずつであるが、住替えの動きが出てくる可能性があり、これを支援する場が必要になりつつある</li> </ul>
--	--	--	--	---	---	---

今後の検討で大切にしたい視点

**計画的につくられたまちを活かしていこう**

計画的な土地利用・施設配置が行われ、周辺も緑豊かな緑地に囲まれた良好な居住環境が形成されている。この良好な居住環境や地域の特性を踏まえ、まちづくりを進めよう

**地域と行政で協力して取り組もう**

地域住民の主体的な取組により進めていくことを基本としつつ、地域の課題解決に向け、地域住民と行政が情報を交換しながら、協力して様々な取組を進めよう

**スピード感をもって行動していこう**

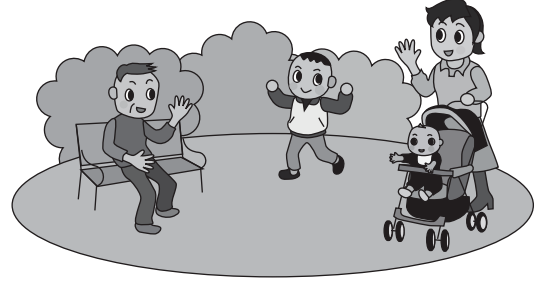
まちづくりの課題解決に必要な取組や仕組みを考え、できることから進め、具体的成果をあげていこう

**お年寄り世帯や子育て世帯が住みやすいまちにする**

- お年寄りが住みやすいまちにする
- まちの若返りのために、子育て世帯が住みたいと思えるようなまちにする

そのためには…

- お年寄りが暮らしやすくなる仕組みをつくる
- 子育て世帯が暮らしやすくなる仕組みをつくる
- 安心して生活できるまちづくりを進める



**誇りを持てる魅力的で活動的なまちにする**

- 地域に誇りを持てるような、若い人たちにも魅力的なまちにする

そのためには…


- 地域の魅力づくりを進める
- お年寄りの技術や経験をいかし、まちの活性化を図る
- 地域の各種団体の活動を充実し、まちの活性化を図る

**お年寄りが暮らし続けるために支え合いがあふれたまちにする**

- お年寄りが家に閉じこもりがちにならないまちにする
- 安心して生活を続けるために、地域での見守りや支え合うまちにする

そのためには…

- 地域の中で話し相手や気軽な相談相手をつくるきっかけづくりをする
- ボランティアの点数制度や安否確認の仕組みをつくる
- 生活をするうえでの便利な情報を提供する
- お年寄りも支援をする立場として参加する



**気軽に集える憩いや交流の場があるまちにする**

- 様々な世代の人が、気軽に集える交流の場があるまちにする
- お年寄りだけではなく、若者や、まちに昔から住む人と、このまちに住み始める人が交流を図る

そのためには…

- 今ある施設を有効活用した交流の場づくりをする
- 施設以外でも憩いや交流の場づくりを進める方法を考える

**地域の資源を活かしたまちづくりをする**

- 公園や緑地、小中学校、児童会館、管理センター等の地域の資源を活かして、まちづくりを進める
- スポーツ環境が整っていることを活かしたまちづくりを進める

そのためには…

- 地域の課題に対応した活用方法を検討する
- スポーツによる地域の活動交流を進める

**良好な住環境を守っていく**

- 静かで豊かな住みやすい環境を守る

そのためには…

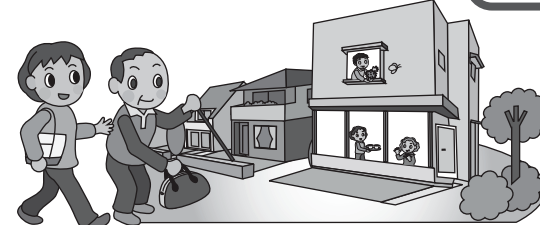
- 時代の変化や住む人のニーズに併せた地区計画の見直しをする際に、現在の良好な居住環境を維持する
- 地区計画よりも緩やかな規制誘導策を目指した制度も検討する

**安心して暮らせる良質な住まいづくりの仕組みをつくる**

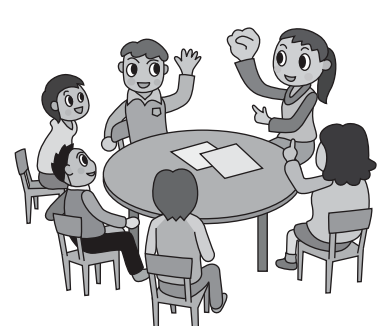
- お年寄りや障がいのある方など、すべての人が安心して自立した生活をするための、住まいの改修や建替えが円滑にできる
- お年寄りが、住替えたいと考えた時に、円滑に住替えができる

そのためには…

- 住宅改修や建替えなどの情報交換や相談ができる場をつくる
- 住替えを支援する仕組みをつくる



## こんなまちにしていきたい（まちづくりの方向性）



### 今後の取組イメージ

<p><b>幅広い地域住民の参加機会の提供</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりサポーターの拡充</li> <li>若い世代の意見を聞く場の設置</li> </ul>	<p><b>既の実施している取組の継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の茶の間の継続と充実</li> <li>時代の変化に応じた地区計画の見直し</li> </ul>	<p><b>今後具体化していきたい取組（例）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的なふれあい交流を通じた、住民同士の繋がりづくり</li> <li>地域包括支援センターや大学など地域外の組織との連携</li> <li>地域住民が必要としていることや、知って得する情報などが掲載された便利帳の作成</li> <li>市有施設等の有効活用に向けた具体的な検討</li> <li>地域課題の解決に向けた既存の制度の活用や新たな制度の創設</li> </ul>
---	---	--